E763Z483H50

MITSUBISHI

三菱白熱灯器具

白熱灯ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ(防雨形)

形名　LS1119AK
　　LS1119AS

施工主さまへ
取付工事のあと、必ずこの「取扱説明書」を使用者さまにお渡しください。

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。

お客さまへ

ご使用前に、正しく安全にお使いいただくために、この「取扱説明書」を必ずお読みください。
そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

お客様へ
取扱説明書

●この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
　一般の方の工事は法律で禁じられております。

人感センサー調光タイプ付照明器具

1．人感センサーが人の動きを検知して自動的に点灯する機能を持っています。
2．照度センサーを内蔵していますので、周囲が明るい時は点灯しないように設定できます。
3．暗くなってからの点灯方法が選べます。
　・消灯で待機。人が近づくと全光点灯します。
　・調光点灯で待機。人が近づくと全光点灯します。
　・調光点灯で６時間待機。６時間後は消灯で待機。人が近づくと全光点灯します。
4．人感センサーを切って、照度センサーとしても使用できます。
5．壁スイッチの操作で連続点灯させることができます。緑色の表示灯が点灯します。

事前にご確認ください

（２ページの「■器具を取り付ける前に」をご確認ください）

●必ず壁スイッチのあるところに取り付けてください。
●１つの壁スイッチには１台でご使用ください。
　（１つの壁スイッチで２台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。）
●調光器のついている回路ではご使用になれません。
●白熱灯は点滅が多いと短寿命になります。

■安全のため必ずお守りください。

商品および「取扱説明書」には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

⚠ 警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

●器具の取り付けは、本体表示並びに「取扱説明書」に従って行う。取り付けに不備があると、落下・感電・火災等の原因
●電気工事は電気工事士の資格のある方が「電気設備の技術基準」・「内線規程」に従って施工する。施工不備があると感電・火災の原因　厳守

●ランプに水滴をかけたり、器具のすきまなどに針金などを差し込まない。ランプの破損によるけがや感電・火災の原因　禁止

●照明器具及びセンサー部分を分解や改造したり、部品を変更しない。落下・感電・火災の原因　禁止

●必ずアースを取り付ける。アースが不完全な場合は、感電の原因（アースは法によりＤ種接地工事が必要。）　アース工事

●この器具は、壁面の丈夫なところに取り付ける。薄い壁面・弱い壁面等に取り付けると、ねじ止めが弱く落下の原因　厳守

●紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置いたりして、使用しない。火災の原因　可燃物

⚠ 注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

●交流１００V以外の電圧で使用しない。間違えて器具に過電圧を印加した場合、ランプ・器具の寿命が短くなったり、過熱による火災の原因　禁止

●器具取付面に凹凸（タイル貼りなど）がある場合には、必ず木台を使用するか、取付面を平面にしてから器具を取り付ける。　防水

●この器具は５～３５℃の温度範囲で使用するように設計してあります。　温度

●点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具が高温になっておりますので、手を触れない。やけどの原因　ランプ高温

●塩害地や湿気の多い場所では使用しない。部品の腐食や結露の原因

●振動の激しい場所や、器具に衝撃の加わる場所では使用しない。器具破損の原因

●風の強い場所には取り付けない。器具の落下やセンサーの誤動作の原因　禁止

●調光器との併用はしない。火災の原因　禁止

●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切る。感電の原因　厳守

●ランプ交換の際は、必ず器具に表示されているランプの種類、ワット（W）数の適合ランプを使用する。間違った種類、ワット（W）数のランプを使用の場合は、過熱により器具が変形・変色したり火災の原因

適合ランプ
白熱電球レフランプ
(110V60W形まで)

⚠ 安全に関するご注意

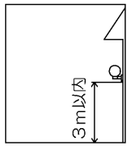
●照明器具には寿命があります。
●設置して８～１０年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
　※使用条件は周囲温度３０℃、1日１０時間点灯、年間３０００時間点灯。（ＪＩＳ　Ｃ８１０５－１解説による。）
●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

■器具を取り付ける前に

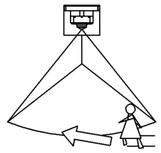
■必ず壁スイッチのあるところに取り付けてください。
■１つの壁スイッチには１台でご使用ください。（１つの壁スイッチで２台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。）
■調光器のついている回路ではご使用になれません。
■器具の性能を確保するため、設置場所は十分検討の上決定してください。

人感センサースイッチの検知エリアを考慮して器具を設置してください。

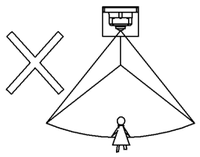
●高さ３m以内に設置してください。



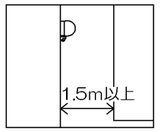
●センサーの特性上、図の様に検知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサーの人体検知の信頼性がより向上します。



●センサー正面に向かって人が近づく様な位置にしますと、検知エリアに沿って人が接近した場合、器具のごく近くまで人が近づかないと検知しない場合があります。



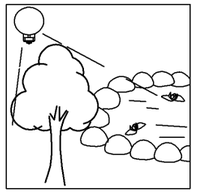
●器具本体から出た光の反射によって起こる自己点滅を防ぐため、白壁から１．５m以上離して取り付けるかもしくは人感センサー検知部の方向を調整してください。



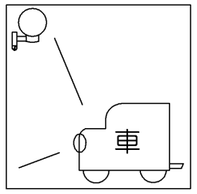
■雨や雪などをセンサーが検知してランプが点灯する場合がありますが、故障ではありません。

■次のような場所には取り付けないでください。(検知しなかったり、誤動作、故障の原因になります。)

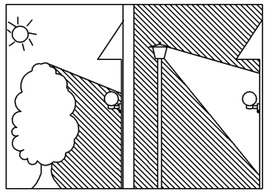
検知エリア内に木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動く場所へはお避けください。



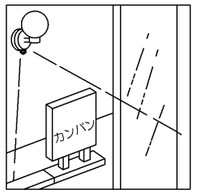
車のヘッドライトが直接当たる場所への取り付けはお避けください。



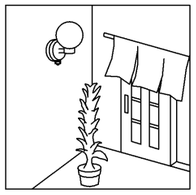
昼間でも暗い場所や、夜間でも明るい場所。
（取付環境により照度レベルが変わり、誤動作等が考えられます）



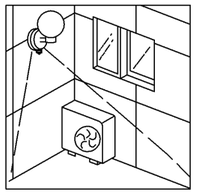
前面に障害物のある場所。
（透明なガラスでも遮断されます。）



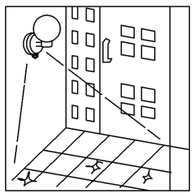
風などでよくゆれるのれんや植物などがある場所。



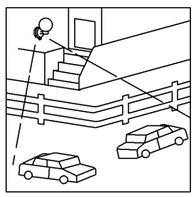
エアコンなどの排気口の近く。
排気口に対向する場所。



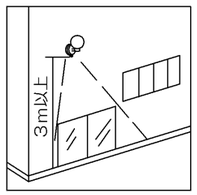
大理石など反射の強い床面のある場所。



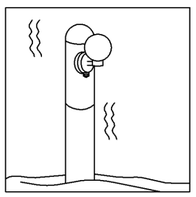
検知エリア内に交通量の多い道路がある場所。



取付高さが３m以上になる場所。



振動の激しいポールなど、不安定な場所。



■故障かな？と思ったら (つづき)

※1　人感センサーは赤外線検知方式となっています。これは検知エリア内の熱変化(温度変化)を検知する方式です。このため、検知エリア内でのペット等の動物の動きにも反応します。また、木や池等の水面が風等で動いた場合や、雨等の水滴が人感センサー検知部に付着した場合や、水滴が人感センサー前面を動いても反応することがあります。また冬季に厚手の服を着ている場合、体温が服の内部に閉じ込められて、服の表面温度が外気と差が無いために、人感センサーが反応しないことがあります。

※2　このセンサーは、照度センサーと人感センサーが複合しています。点灯は照度センサーが優先され、消灯は人感センサーが優先されます。通常は周囲が暗くなり照度センサーが検知状態となってから人感センサーが動作します。人感センサーが検知して全光点灯状態のときは照度センサーは動作しません。この機能のため、周囲が暗い状態で人感センサーが動作し、検知し続けることにより点灯を維持すると、周囲が明るくなってもランプは点灯したままとなります。

※3　電源投入直後は約1分間ランプ点灯状態となりセンサー内のマイコン調整を行います。マイコン調整が終了するとセンサーは約５秒間消灯してからセンサー待機状態となります。

※4　反射が強い床面や壁面に取り付けると、ランプの光が反射して、照度センサーが明るくなったと検知して消灯し、消灯後暗くなったと検知して再び点灯するといった点滅状態となる場合があります。(点灯間隔は約５分)　この場合、ランプ照射部分が可動できるものは床面や壁面を照らさない方向に可動させてください。その他の器具は、器具の設置位置を変更するか、床面や壁面が反射しないような措置が必要となります。

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、お買上げの販売店にご連絡ください。

■お手入れのしかた

⚠ 注意　お手入れの際は必ず電源を切ってから行ってください。感電の原因となります。

■器具はぬるま湯またはうすめた中性洗剤を浸した布をよく絞ってから拭いてください。
このとき、ぬれた手でソケット部にふれないでください。（メッキ部分は乾いた布で拭いてください。）
■ランプは取りはずしてから、乾いた布で拭いてください。

⚠ 警告	⚠ 注意
■器具に直接水をかけて洗わないでください。破損・感電・火災等の原因となります。 ■ランプは水洗いしないでください。ランプ破損によるけがや故障・感電の原因となります。	■ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。破損等の原因となります。 ■金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり腐食の原因となります。

保証について

○保証期間は商品お買上げ日より1年間です。
ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は3年間です。
※ランプ･グロー点灯管･電池などの消耗品、セード･グローブ類･リモコン送信機等は対象外とさせていただきます。
※２４時間連続使用など、１日２０時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期限とします。
○保証内容は、取扱説明書・本体貼付シール等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
○保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
1.お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
2.施工上の不備に起因する故障や不具合
3.使用上の誤りおよび、不当な修理や改造による故障および損傷
4.車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
5.火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
6.日本国内以外での使用による故障および損傷
7.法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷

アフターサービスについて

○修理を依頼されるとき
1.保証期間内の場合
販売店のレシート等、お買上げ日を特定できるものを添えて、お買上げ販売店までお申し出ください。
2.保証期間を過ぎている場合
お買上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理 させていただきます。
○補修用性能部品の最低保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。
※性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
○アフターサービスについてご不明な点（修理・取扱いのご相談）はお買上げの販売店へお申しつけください。
転居や贈答品などでお買上げの販売店にご依頼できない場合、
1.修理のお問合わせは、「修理窓口」へ
フリーダイヤル (0120) 56-8634　インターネット www.melsc.co.jp
東日本修理受付センター (03)3424-1111
西日本修理受付センター (06)6454-3901
2.その他のお問合わせは、「ご相談窓口」へ
お客さま相談センター　フリーコール (0120)139-365
東京都世田谷区池尻3-10-3　(03)3414-9655

製造会社 三菱電機照明株式会社
三菱電機株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/group/mlf/
(0467)41-2729　FAX (0467)41-2786

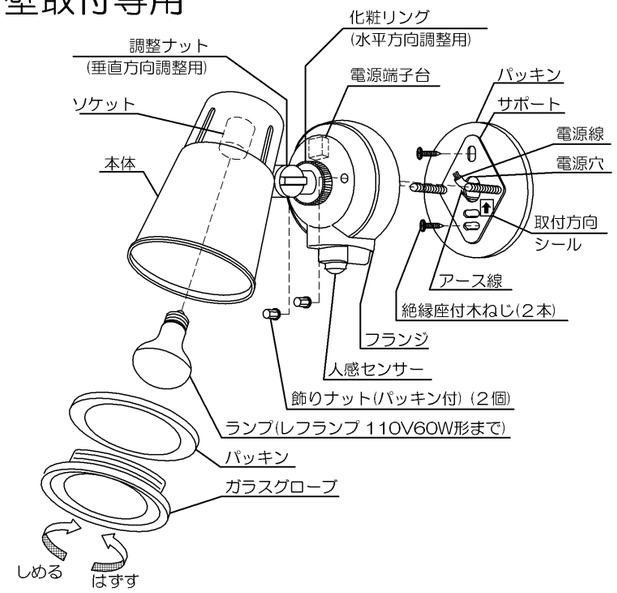
■故障かな？と思ったら

■センサーの動作が故障かな？と思ったら下記を参照に点検を行ってください。

現象	考えられる原因	処置方法
周囲が暗くなっても点灯しない。	電源接続が正しく行われていない。	電源を正しく接続してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
	壁スイッチ(電源)がOFFになっている。	壁スイッチ(電源)をONにしてください。
	壁スイッチが故障している。	壁スイッチを交換してください。(工事店等に依頼してください。)
	ランプが切れている。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。
	[まわりの明るさ]スイッチが「切」になっている。	[まわりの明るさ]スイッチを「暗」または「明」に設定してください。P6
	センサーに周りの光が入っている。	光が入らないようにしてください。※4
	照度センサーに周りの光が入っている。	センサーを交換してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
	タイマー回路等に接続されている。	タイマーが優先になっていると点灯しない場合があります。
人が近づいても点灯しない。	電源接続が正しく行われていない。	電源を正しく接続してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
	壁スイッチ(電源)がOFFになっている。	壁スイッチ(電源)をONにしてください。
	壁スイッチが故障している。	壁スイッチを交換してください。(工事店に依頼してください。)
	ランプが切れている。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。
	厚手の服を着ている。傘をさしている。	熱量を検知するためコート等を着込んでいたり、傘をさしていると体温が検知されず反応しない場合があります。※1
	[点灯時間]スイッチが「人感切」になっている。	スイッチの設定を変えてください。P7
	人感センサーの検知部の表面に汚れが付着している。	水で固く絞った柔らかな布で軽く人感センサー検知部の汚れを落としてください。
	検知エリアに人が入っていない。	検知エリアの確認、調整を行ってください。P6
	照度検知に対し、周りが明るすぎる。	設定されたモードより暗くなると人感センサーが動作します。P6
	タイマー回路等に接続されている。	タイマーが優先になっていると点灯しない場合があります。
点灯したままで消灯しない。	連続点灯モードになっている。(緑の表示灯が点灯している)	センサーモードに戻してください。P7
	電源の瞬時停電でセンサーが連続点灯モードになっている。	電源の瞬時停電があると、連続点灯モードになる場合があります。P6
	[点灯時間]スイッチが「人感切」になっている。	照度センサーモードになっています。スイッチの設定を変えてください。P6
	検知エリアに熱源がある。	検知エリアから熱源を取り除いてください。※1
	検知エリア内に、常に人感センサーに反応するものがある。	検知エリアから反応するものを取り除いてください。※2
	激しい雨が降っている。	人感センサー検知部についた水滴を検知して点灯する場合があります。※1
	検知エリアに木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動くと検知する場合がある。	検知エリアの調整をしてください。※1
	調光、６ｈ調光モードになっている。	[動作]スイッチを確認してください。P6 調光、６ｈ調光モードは約20%の明るさで点灯します。
	センサーが故障している。	センサーを交換してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
人が近づかなくても点灯する。	照度センサーモードで、周囲が暗くなった。	照度センサーモードは周囲が設定より暗くなると点灯します。
	検知エリア内にペットなどの動物がいる。	ペットなどの動物にも人感センサーは反応します。※1
	激しい雨が降っている。	人感センサー検知部についた水滴を検知して点灯する場合があります。※1
	検知エリアに木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動くと検知する場合がある。	検知エリアの調整をしてください。※1
	検知エリア内を車などが通る。	車の通りが激しいところでは誤作動しますので、検知エリアの調整を行ってください。※1
	検知エリアに熱源がある。	検知エリアから熱源を取り除いてください。※1
	電源電圧の一時的で急激な変動があった。	※3
	センサーが故障している。	センサーを交換してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
ランプが短寿命である。	ランプ不良の場合がある。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。
	振動が多い場所に取り付けてある。	振動でランプが切れる場合があります。 振動がない場所に取り付けてください。
	電源電圧が高めである。	電圧が高いとランプ寿命が短くなります。白熱電球は１１０Vのランプを使用することをおすすめします。
	他社製ランプで器具に適合していない。	当社指定ランプをご使用ください。
	電球形蛍光ランプを使用している。	器具に適合する白熱電球に交換してください。
検知エリアに人がいるのにランプが消える。	ランプが切れた。	壁スイッチをOFFしてからランプを交換してください。
	検知エリア内で動かなくなった。	検知エリア内に人がいても、動きがない場合には人感センサーが検知しないためランプが消えます。 動くと人感センサーが検知しランプが点灯します。
	センサーの電源を都度、入り切りしている。	電源ON直後はセンサー内のマイコンが調整を行ってしまいますので、1度ランプが点灯し消灯して待機状態となります。※3
	[点灯時間]スイッチが「人感切」になっている。	明るくなると消灯します。スイッチの設定を変えてください。P7
明るさに関係なく人に反応し点灯する。	[まわりの明るさ]スイッチが「切」になっている。	[まわりの明るさ]スイッチを「暗」または「明」に設定してください。P7
	まわりの明るさが急に明るくなった。 黒い布などでセンサーを覆っていたものを取り除いた。	照度センサーがまわりの明るさを検知し、待機状態を解除するまでに数分間かかる場合があります。
明るさに関係なく点き放しになる。	誤った壁スイッチ操作や瞬間的な停電などで連続点灯モードになっている。(緑色の表示灯が点灯している。)	壁スイッチを2秒以上OFFにしてから再びONしてください。 設置されているセンサーのモードに戻ります。P7
ランプが点滅する。	センサーの切替スイッチが設定されていない位置となっている。	切替スイッチの位置を変更してください。P5,6
	ランプの光を照度センサーが検知してしまっている。	器具設置場所を変更してください。※4

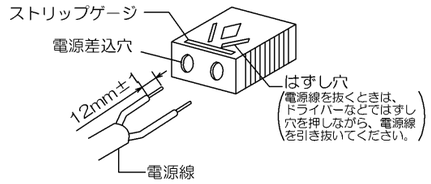
■器具の取りつけかた

防雨形
壁取付専用



取付距離をご確認ください

天井面・壁面から0.3m以上はなして取り付けてください。
下側はなにも無いようにしてください。センサーの検知エリアに影響します。



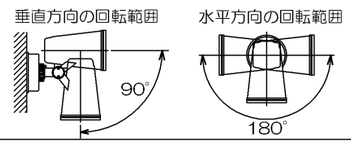
適合電線φ1.6、φ2.0単線

図-1　端子台

本体の照射方向調節範囲

●垂直方向の角度調整方法
垂直方向の角度調整を行う際は、必ずグリップナットを少しゆるめゆっくりと動かしてください。
（グリップナットは本体から取りはずせません。）
角度調整後、グリップナットを締めてしっかりと固定してください。

●水平方向の角度調整方法
水平方向の角度調整を行う際は、必ず化粧ナットを少しゆるめゆっくりと動かしてください。
角度調整後、化粧ナットを締めてしっかりと固定してください。



お　願　い
可動範囲は上図のように行うことができます。 但し、一定以上に動かない構造となっておりますので、無理に力を加えないでください。

⚠注 意	やけどの恐れあり
点灯中は灯具が高温となり、やけどの恐れがあります。 本体可動の際は、ランプを消してしばらくたってから行ってください。	

1．器具を取り付ける前にガラスグローブをはずしてください。
飾りナット（パッキン付）（2個）をはずし、フランジからサポートをはずしてください。

2．サポートを取り付けてください。
パッキンとサポートの中央電源穴に電源線とアース線を通してから、取付方向に従って付属の絶縁座付木ねじ（2本）でサポートを取付面にしっかりと取り付けてください。

⚠警　告
器具の取り付けには方向性があります。 本体表示に従い行ってください。 指定方向以外の取り付けを行うと、落下・感電・火災の原因となります。

⚠警　告
落下してけが・感電・火災のおそれあり 指定の方向以外の取付禁止 ⬆ 矢印を上にして取付

⚠警　告
取り付けの際は取り付け面の凹凸を調べて平滑な所に取り付けてください。また、電源穴を内側よりコーキングしてください。造営物によってはボリ台・木台を使用してください。取り付けが不十分ですと、湿気・水気の浸入による絶縁不良・感電の原因となります。

3．電源線を結線してください。
端子台のストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、電源差込穴に奥まで差し込んでください。（図-１）

4．アース線をアースねじに接続してください。（図-２）

⚠警　告	感電・発熱・焼損・火災の原因となります
・電源線皮むき寸法は12㎜±1㎜で、垂直にカットしてください。 ・結線は電源線を確実に奥まで差し込んでください。 ・電源線はまっすぐなφ1.6㎜、2.0㎜銅単線を使用してください。 ・曲がった電源及び、より線は使用しないでください。 ・電源線結線及び器具施工の際は電源線をねじったり回したりしないでください。 ・アース工事を確実に行う事。	

5．フランジを取り付けてください。
フランジ内面の取付方向に従ってフランジを取付面のサポートに飾りナット（パッキン付）（２個）でしっかりと固定してください。

6．ランプをソケットに取り付けてください。

⚠注　意
人感センサー調光タイプ付器具には電球形蛍光灯を使用することはできません。器具、ランプの故障の原因となります。

7．ガラスグローブを取り付けてください。
グローブにパッキンを介し、グローブを右にまわして、本体にしっかりと取り付けてください。

⚠警　告
器具の取り付けは確実に行ってください。 取り付けが不十分ですと、落下・感電・火災等の原因となります。

8．必要に応じて、検知エリアを調整してください。
── テストモード　7ページ

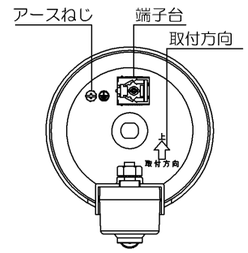
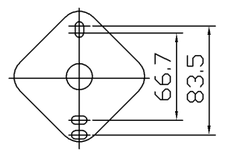


図-2　フランジ内面

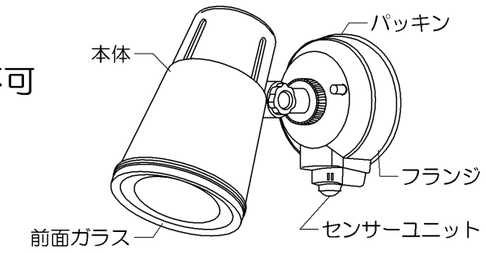


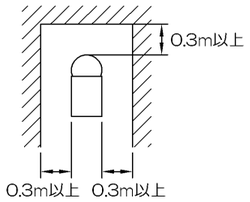
サポート取付ピッチ

■各部のなまえ

※この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

防雨形
壁面取付専用
天井・床置取付不可



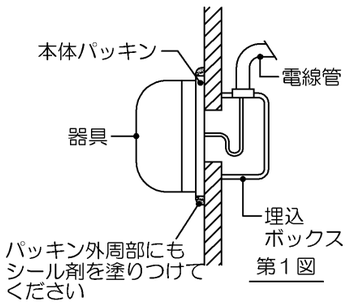


器具周囲面より0.3m以上
離して取り付けてください。
下側はなにもないようにしてください。
センサーの検知エリアに影響します。

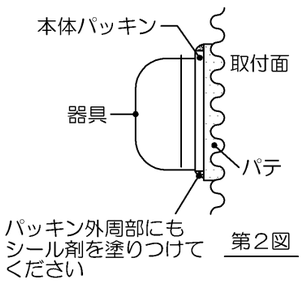
■器具取り付け時の注意事項

⚠注　意

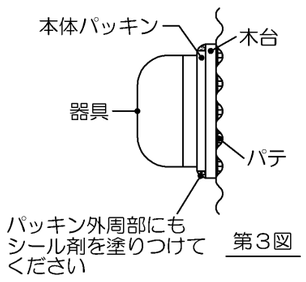
●器具を取り付ける際は、器具取付部の本体パッキンが取付面と器具に、必ず密着するようにしてください。
●高湿度内で長時間ご使用の場合は点灯・消灯による呼吸作用を回避するため、第１図のような工事を行ってください。
●器具の取付面は、本体パッキンよりも大きくしてください。(第２図・第３図)
●裏面から雨がかかるような取り付けはしないでください。
●取付面に凸凹がある場合は、パテ等で凸凹をなくすか、防水用シール剤等で器具(木台)と取付面のスキマを埋めるようにしてください。(第２図・第３図)
●埋込ボックス等に取り付ける場合は、取付用ねじに金属製のワッシャー等をはめてから器具を取り付けてください。
(ボックス取付用ねじは付属されておりません。)



第１図



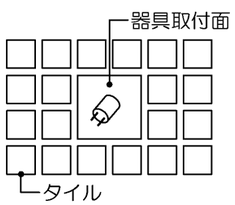
第２図

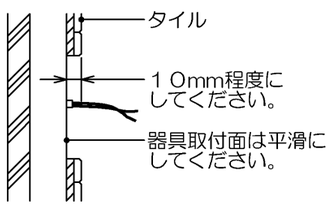


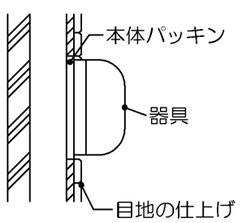
第３図

※「本体パッキンと取付面より外周部にシール剤を塗りつける」または、「本体パッキンと取付面全体をシール剤で塗りつける」などを行い、確実に防水するようにしてください。

●タイルモジュールの場合
①器具の取付面を確保してください。取付面は本体パッキンよりも大きくしてください。
・電源線は中央から正確に出してください。
②器具の取付面を平滑にしてください。
注) 器具の取付面に凸凹がありますと、器具取付部の本体パッキンの防水性が損なわれ感電のおそれがあります。ご注意ください。
③器具の取り付け後、目地部の仕上げをします。
・目地仕上げには、目地用モルタルまたは、市販の防水用シール剤で仕上げてください。漏水の原因にもなりかねませんので、目地仕上げには十分注意してください。







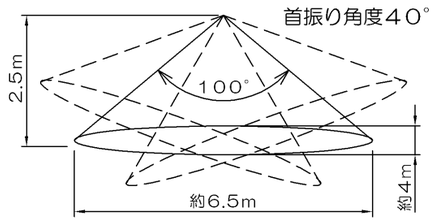
※防水用シール剤はカビの発生防止、耐久性に優れるものをお選びください。

■設置後検知エリアを決定する

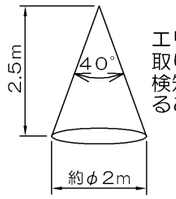
●検知エリアを決定するには「テストモード」で行うと便利です。
「テストモード」は周囲が明るいときでも、人を検知するたびに約５秒間全光点灯します。
器具の周囲を歩き、検知エリアの確認、調整を行ってください。
（「テストモード」への設定は、■設定方法　●テストモード を確認してください。）
1. 切替スイッチを「テストモード」に合わせる。
2. 壁スイッチをONします。
※壁スイッチをONすると、約１分間全光点灯します。その後約５秒間消灯してからセンサーが動作します。
3. 人感センサー検知部を動かして位置を決めてください。
※センサーに向かって人が近づくような位置に検知エリアを設定すると、器具のごく近くまで人が近づかないと検知しない場合があります。

検知エリア

検知エリアは参考値です。
※照明器具の灯具の向きまたはセンサーの向きによっては検知エリアの距離を満足しない場合があります。
※検知エリアは、気象条件などにより差が生じる場合があります。
（特に寒冷地などで、手袋・コートなどの表面温度が低い時、動作しない場合があります。）



エリアカットマスク使用時



エリアカットマスクを取り付けることにより検知エリアをせまくすることができます。

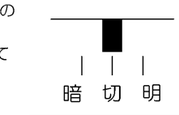
■設定方法

●テストモード

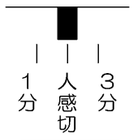
周囲の明るさに関係なく人を検知すると５秒間点灯します
※出荷時は、テストモードに設定されています。

1.［動作］のスイッチを「ON/OFF」に設定してください。

2.［まわりの明るさ］のスイッチを「切」に設定してください。



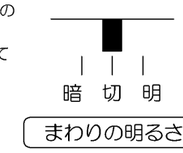
3.［点灯時間］のスイッチを「人感切」に設定してください。



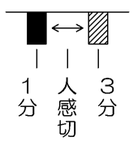
●人感センサーモード　周囲の明るさに関係なく人を検知すると点灯します

1.［動作］のスイッチを「ON/OFF」に設定してください。

2.［まわりの明るさ］のスイッチを「切」に設定してください。



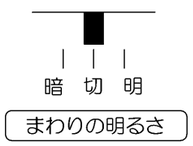
3.［点灯時間］のスイッチを「１分」または「３分」に設定してください。



「１分」：約１分間点灯します。
「３分」：約３分間点灯します。
※検知エリアから人が離れたり静止した後の点灯時間です。

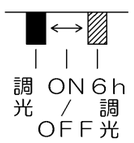
※下記スイッチの組み合わせでは動作しません

●下記のような切替スイッチの組み合わせとすると、照明器具のランプが約0.5秒間隔で点滅します。設定を変更してください。

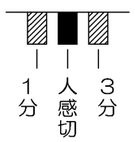


1.［まわりの明るさ］のスイッチを「切」に設定する

▷

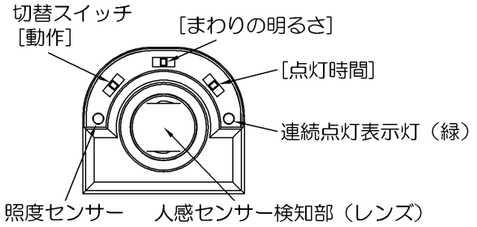


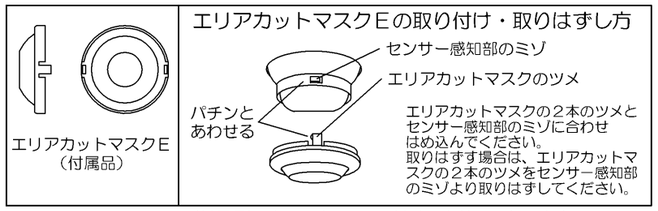
2.［動作］のスイッチを「調光」または「６ｈ調光」に設定した場合



3.［点灯時間］のスイッチはどの位置でも変わりません

■センサーの名称





※エリアカットマスクE（付属品）はセンサーに取り付けて出荷しております。

■センサー機能について

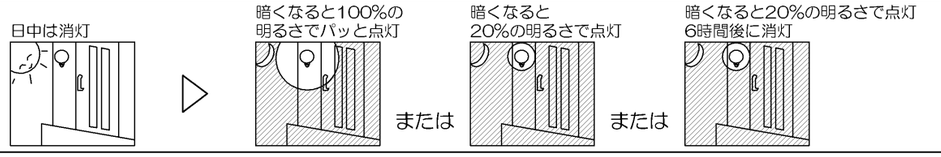
●人感センサースイッチの切替スイッチを組み合わせることにより、いろいろなモードに設定できます。
●壁スイッチの操作で連続点灯(8時間)させることができます。

●ON/OFFモード　暗くなって人を検知した時だけ点灯させたい

●調光モード　一晩中ほんのり点灯して人が近づいた時は明るくしたい

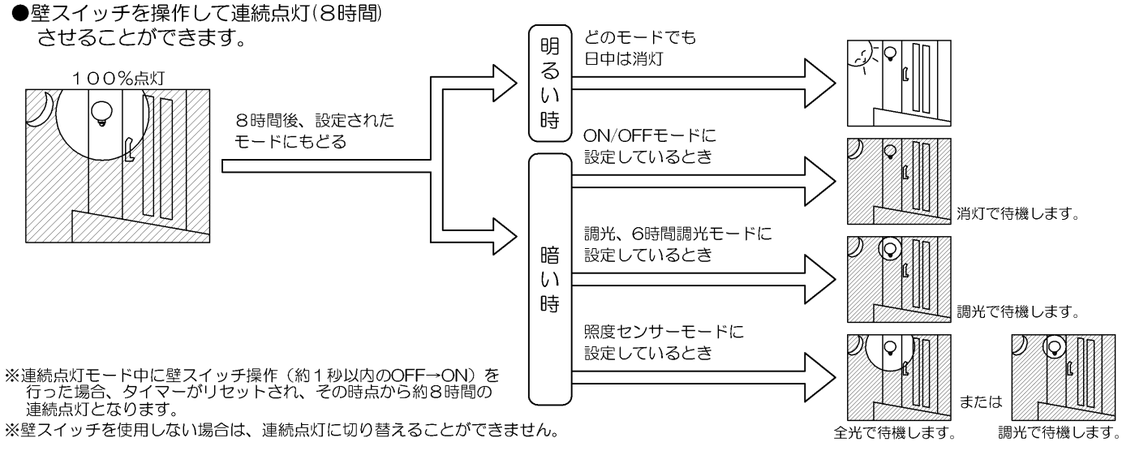
●6時間調光モード　一晩中ほんのり点灯はもったいない、でも不用心

●照度センサーモード　人の検知に関係なく一晩中点灯させたい



●連続点灯　まわりに関係なく点灯させたい

●壁スイッチを操作して連続点灯(8時間)させることができます。



※連続点灯モード中に壁スイッチ操作（約１秒以内のOFF→ON）を行った場合、タイマーがリセットされ、その時点から約８時間の連続点灯となります。
※壁スイッチを使用しない場合は、連続点灯に切り替えることができません。

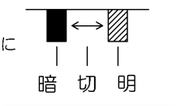
■設定方法

●壁スイッチをONすると約１分間全光点灯します。その後約５秒間消灯してからセンサーが動作します。
●使用中に切替スイッチを切り替えると、約５秒間消灯してから設定状態で動作します。
（連続点灯モードを除く）

●ON/OFFモード

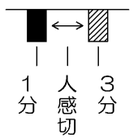
1.［動作］のスイッチを「ON/OFF」に設定してください。

2.［まわりの明るさ］のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。



「暗」：約１５ルクス以下となると待機状態となります。
「明」：約４５ルクス以下となると待機状態となります。

3.［点灯時間］のスイッチを「１分」または「３分」に設定してください。

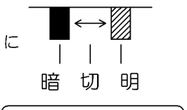


「１分」：約１分間点灯します。
「３分」：約３分間点灯します。
※検知エリアから人が離れたり静止した後の点灯時間です。

●調光モード

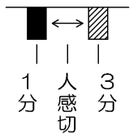
1.［動作］のスイッチを「調光」に設定してください。

2.［まわりの明るさ］のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。



「暗」：約１５ルクス以下となると待機状態となります。
「明」：約４５ルクス以下となると待機状態となります。

3.［点灯時間］のスイッチを「１分」または「３分」に設定してください。

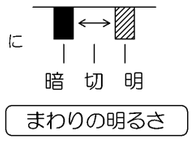


「１分」：約１分間点灯します。
「３分」：約３分間点灯します。
※検知エリアから人が離れたり静止した後の点灯時間です。

●6時間調光モード

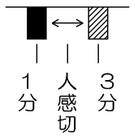
1.［動作］のスイッチを「６ｈ調光」に設定してください。

2.［まわりの明るさ］のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。



「暗」：約１５ルクス以下となると待機状態となります。
「明」：約４５ルクス以下となると待機状態となります。

3.［点灯時間］のスイッチを「１分」または「３分」に設定してください。

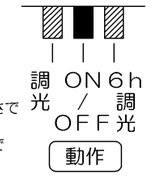


「１分」：約１分間点灯します。
「３分」：約３分間点灯します。
※検知エリアから人が離れたり静止した後の点灯時間です。

●照度センサーモード

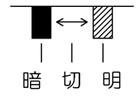
●灯具を真下に向け設置した場合、ランプの光が床面より反射して誤動作(点滅)する場合があります。
設定モードを「調光」にするか、灯具の角度を可動(20°以上)させてください。

1.［動作］のスイッチを設定してください。



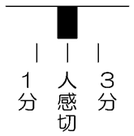
「ON/OFF」：１００%の明るさで点灯します。
「調光」　：２０%の明るさで点灯します。
「６ｈ調光」：６時間、２０%の明るさで点灯します。６時間後消灯します。

2.［まわりの明るさ］のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。



「暗」：約１５ルクス以下となると待機状態となります。
「明」：約４５ルクス以下となると待機状態となります。

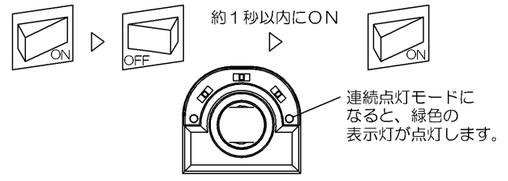
3.［点灯時間］のスイッチを「人感切」に設定してください。



●連続点灯モード

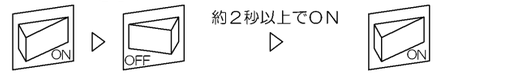
●連続点灯設定方法

1．壁スイッチを一度　2．約１秒以内にONにする



●連続点灯設定解除方法

1．壁スイッチを一度ONにする　2．約２秒以上でONにする



※人感センサースイッチの緑色の表示灯は消灯します。

壁スイッチをONした直後は、約１分間１００%点灯します。
約5秒間消灯したあと、センサー待機状態となります。